

伝統医療薬学コース特論・演習

Integrated Traditional Medicine and Pharmacy

薬：L1-21613MY

コース科目 6年／前期 1.5単位 選択必修科目

科目責任者 馬場 正樹(臨床漢方研究室)

■ 教育目的

5年次における実習施設などでのコース実習で習得した知識、技能などを踏まえ、さらに伝統医療薬学に関わる幅広い内容を学ぶ。それにより、さらに専門性を身につけた薬剤師を目指す基礎とする。【卒業認定・学位授与の方針：YD-①、⑤、⑥】

■ 学習到達目標

1. 現代医療の中の伝統医療に関して、独自の研究テーマを設定し、調査して情報の信ぴょう性を検討し、考察を加えた上でまとめる技能を身につける。(知識・技能・態度)
2. 様々な伝統医療およびそれに端を発する現代医薬品について、現在の医療の中でどのように貢献しているか理解する。(知識・態度)
3. 伝統医療、特に漢方薬の問題点・注意点を理解し、適切な対処を身につける。(知識・技能・態度)

■ 準備学習（予習・復習）

伝統医療に関する幅広くより深い知識を身につけるために、意欲をもって自発的に取り組む。

予習：実習時の日報をもとに疑問点を事前にまとめておく(30分程度)

復習：配布プリント等を有効に使って復習する(30分程度)質問は随時受け付ける。

■ 授業形態

プレゼンテーション、実習・フィールドワーク、講義

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1～2	伝統医療コース特論・演習	ガイダンス、前年度の実習に関するまとめ、報告会発表内容の抄録作成など 繁用漢方処方に関する最新の話	E2(10)-②-1～3 E2(10)-③-1
3～4	伝統医療コース特論【ケシ1～2】	東京都薬用植物園でアヘンの基原植物であるケシや、それに関わる違法薬物などについて	B(2)-③-1～3 C5(1)-①-4 C5(1)-③-2
5～6	伝統医療コース特論【アロマ1～2】	アロマセラピーの実践について(外部講師)	C5(2)-④-3 E2(10)-①-3 E2(9)-①-6
7～8	コース合同特論 伝統医療1～2	他のコースとの合同特論講義1～2 臨床における漢方医療に関する留意点や副作用などについて(外部講師)	B(2)-③-1～3 C5(1)-①-4 C5(1)-③-2
9～10	コース合同特論 地域医療・海外医療1～2	他のコースとの合同特論講義 地域医療コース・海外医療コース特論講義で幅広い分野の見識を広げる	地域医療コース・海外医療研修コース特論・演習の項参照
11～12	特別講義	多職種連携について(仮題、日本社会事業大学担当)	B(4)-②-1,4
13～14	特別講義	処方解析について(仮題)	
15	まとめ	全体のまとめ 報告会抄録提出、内容に関する議論など	E2(10)-②-1～3

■ 授業分担者

馬場 正樹、浦辺 宏明、紺谷 園二、杉山 重夫、荒木 信、小池 伸、月村 考宏、外部講師(No.5～14)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題レポートの提出状況及び内容(50%)、確認テスト等(Web小テストを含む：50%)による総合評価。課題レポートは次の回で一部を解説し、質問は随時受け付ける。

■ 教科書

薬日本堂漢方スクール「漢方基礎講座1・2」その他、必要に応じてプリントを配布する

■ 参考書

「新一般用漢方処方の手引き」合田幸広ら監修(じほう)